



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ  
コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 重松 理  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	68,449	10.9	7,862	45.5	7,744	42.3	3,990	44.1
22年3月期第3四半期	61,742	3.3	5,402	27.5	5,444	27.8	2,768	41.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	102.65	102.30
22年3月期第3四半期	65.60	—

(注)平成22年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	49,860	15,459	31.0	490.06
22年3月期	46,163	23,327	50.5	552.68

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 15,459百万円 22年3月期 23,327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	26.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,612	8.5	6,409	29.7	6,338	25.8	2,283	62.7	53.46

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	42,800,000株	22年3月期	42,800,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	11,254,380株	22年3月期	591,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	38,881,502株	22年3月期3Q	42,208,056株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	P. 11
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	P. 11
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	P. 13
【第3四半期連結累計期間】 (参考) (個別)	
5. 補足情報 (・平成23年3月期第3四半期の個別売上概況について)	P. 14
(1) 全社売上高の状況	P. 14
(2) 業態別の売上状況	P. 14
(3) 既存店の状況(小売)	P. 14
(4) 品目別の売上状況(ビジネスユニット計)	P. 14
(5) チャンネル別の売上状況	P. 14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から12月31日まで)におけるわが国経済は、円高傾向の継続、厳しい雇用情勢、海外景気の下振れ懸念などを背景に足踏み状態となっており、先行き不透明な状況が継続しております。各種経済政策の効果で一部個人消費の持ち直しはみられたものの、消費者の節約志向の継続などから、消費者マインドも弱含みとなっております。

当社グループの属する衣料品小売業界におきましては、10月の百貨店売上が前年を越えるなど明るい兆しはみせたものの、消費者の生活防衛意識は引き続き高く、低価格志向や慎重な消費傾向が継続したことに加え、記録的な猛暑、12月上旬の温暖な気候により商品の動きが出遅れるなど、厳しい環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「持続可能な収益体質を確立し、次の再成長へ向けた足場を固める」という経営方針のもと、構成する各会社および事業ごとの成長ステージに応じた施策および出店を実施することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

株式会社ユニテッドアローズでは、3つの重点課題への取り組みを着実に推進いたしました。

①「基本販売政策の再徹底」と「商品・販売部門の連携強化」による、強固な店舗運営体制の構築とさらなるお客様満足極大化の推進

※「基本販売政策」とは、豊富な知識と確かな技術を持つ販売員による販売活動と、店舗環境やCRM活動といった店舗による販売活動を体系化したものです。

②「商品プラットフォームの完成および活用推進」と、その上に乗せる「最適なMDバランスを伴う基本商品政策の再徹底」による、さらなる収益性向上

※当社では、「MDプラットフォーム」と「生産プラットフォーム」を合わせて「商品プラットフォーム」と定義し、商品の調達・生産～投入～消化活動の土台となる考え方として推進しています。

※「基本商品政策」とは、品揃えや商品開発理念といったファッションビジネスの根幹を成す考え方を定義し体系化したものです。

③「あるべき業務の標準化」と「正しい運用の再徹底」による、さらなる生産性向上とお客様最適の組織・運営体制の構築

①では、基本販売政策に基づき、ロールプレイングなどの店頭OJT活動を継続し、地道な接客力・販売力の強化を行なった他、店長研修の実施による店舗マネジメントの強化をいたしました。また、販売部門からの商品に関する要望を品揃えや商品企画に反映させる体制を強化するなど、商品・販売部門が連携した取り組みを強化いたしました。

②では、商品プラットフォームの活用と定着を図るために、引き続き、全社ベースでの仕入、売上、粗利、在庫などの重要業績指標のモニタリングや分析を強化するとともに、業務のマニュアル化やスケジュールの可視化を推進いたしました。

③では、部署間の業務精度の向上を目的に、優先順位を付けた10数項目の部署間の課題に対して、業務プロセスやルールの見直しなど個別の検討を実施いたしました。また、店舗運営の生産性向上のために、店舗における業務の負荷要因の洗い出しを行ない、個別検討を行なった他、一部店舗にレイバーコントロールシステム(生産性管理システム)をテスト導入いたしました。

出退店につきましては、当第3四半期連結累計期間の9ヶ月間においてユニテッドアローズ業態：3店舗の出店および3店舗の退店、グリーンレーベルリラクシング業態：4店舗の出店、クロムハーツ業態：1店舗の出店、スモールビジネスユニットおよびU Aラボ：5店舗の出店、アウトレット：2店舗の出店を実施し、当第3四半期末時点の小売店舗数は147店舗、アウトレットを含む総店舗数は164店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴでは、直営1店舗を出店、1店舗を退店し、直営11店舗を維持いたしました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月：1月)では、中期の成長けん引業態と位置付け、積極的な出店を実施しております。当第3四半期連結累計期間において8店舗の出店を実施し、当第3四半期末時点(平成22年10月末)の店舗数は34店舗となりました。

連結子会社の株式会社ペレニアルユニテッドアローズ(決算月：1月、以下「ペレニアル」)については、当第3四半期連結累計期間において1店舗を出店し計7店舗となったものの、平成22年4月23日、同社を解散することについて決議しており、平成22年9月末までに全店舗を閉店、ペレニアルも平成22年12月10日をもって清算終了いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、主に単体において、主力業態であるユニテッドアローズ業態やグリーンレーベルリラクシング業態を中心に、小売既存店の売上高が回復し、684億49百万円(前年同期比10.9%増)となりました。売上総利益につきましては、375億72百万円(前年同期比14.5%増)となり、売上総利益率54.9%(前年同期比1.8ポイント増)となりました。これは主に単体において、商品プラットフォームの活用推進に伴う商品の調達・生産～投入～消化活動の業務精度が向上し、レギュラー店およびアウトレット店の売上総利益率が改善したことによるものです。販売費及び一般管理費につきましては、自社オンラインサイトの1周年記念販促の実施、出稿費やカタログ制作費などの販促強化により宣伝販促費が増加いたしました。コスト効率を高めたことにより、前年同期比8.4%増と売上高の伸びを下回り、297億9百万円となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は78億62百万円(前年同期比45.5%増)、経常利益は77億44百万円(前年同期比42.3%増)となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額として9億21百万円、店舗の退店、移転、改装に伴う減損損失3億51百万円など、合計13億42百万円を特別損失に計上した結果、四半期純利益39億90百万円(前年同期比44.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して3,175百万円(10.9%)増加の32,245百万円となりました。これは、商品が1,361百万円、未収入金が2,698百万円それぞれ増加し、現金及び預金が263百万円、受取手形及び売掛金が54百万円、繰延税金資産が540百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して521百万円(3.1%)増加の17,615百万円となりました。これは、建物及び構築物が1,108百万円増加し、有形固定資産その他が306百万円、無形固定資産が279百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して11,359百万円(58.5%)増加の30,765百万円となりました。これは、短期借入金12,360百万円、支払手形及び買掛金が1,597百万円それぞれ増加し、未払法人税等が1,077百万円、賞与引当金が1,002百万円、店舗閉鎖損失引当金が418百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して206百万円(6.0%)増加の3,636百万円となりました。これは、資産除去債務が1,751百万円増加し、長期借入金が1,546百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して7,868百万円(33.7%)減少の15,459百万円となりました。これは、自己株式が10,654百万円、利益剰余金が2,794百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第4四半期連結会計期間において「キャス・キッドソン」事業の運営終了、「時しらず」事業の撤退など、スモールビジネスユニットおよびUAラボの一部事業の売上高および売上総利益の減少、加えて宣伝販促費などの追加経費の発生を見込んでおります。したがって、平成23年3月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間において、連結業績は順調に推移しておりますが、連結および個別の見通しともに据え置くことといたします。

2. その他の情報

- (1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要  
該当事項はありません。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要  
該当事項はありません。

3. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,910	4,173
受取手形及び売掛金	253	308
商品	18,073	16,712
貯蔵品	180	191
未収入金	8,508	5,809
その他	1,360	1,916
貸倒引当金	△42	△42
流動資産合計	32,245	29,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,567	5,458
その他(純額)	1,737	2,043
有形固定資産合計	8,304	7,502
無形固定資産		
のれん	—	159
その他	1,903	2,022
無形固定資産合計	1,903	2,182
投資その他の資産		
差入保証金	6,289	6,285
その他	1,122	1,128
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	7,408	7,409
固定資産合計	17,615	17,094
資産合計	49,860	46,163
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,268	7,670
短期借入金	14,600	2,240
1年内返済予定の長期借入金	2,176	2,176
未払法人税等	653	1,731
賞与引当金	493	1,495
店舗閉鎖損失引当金	—	418
その他	3,574	3,673
流動負債合計	30,765	19,406
固定負債		
長期借入金	1,786	3,332
役員退職慰労引当金	91	91
資産除去債務	1,751	—

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第3四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
その他	7	6
固定負債合計	3,636	3,429
負債合計	34,401	22,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	19,913	17,119
自己株式	△11,563	△909
株主資本合計	15,475	23,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	△1
繰延ヘッジ損益	△11	△6
評価・換算差額等合計	△16	△7
純資産合計	15,459	23,327
負債純資産合計	49,860	46,163



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	61,742	68,449
売上原価	28,933	30,876
売上総利益	32,809	37,572
販売費及び一般管理費	27,406	29,709
営業利益	5,402	7,862
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	—	4
仕入割引	22	27
為替差益	28	25
その他	121	79
営業外収益合計	172	138
営業外費用		
支払利息	112	105
支払手数料	—	118
その他	18	33
営業外費用合計	131	256
経常利益	5,444	7,744
特別利益		
主要株主株式短期売買利益返還益	138	—
固定資産売却益	—	3
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	77
その他	—	19
特別利益合計	138	100
特別損失		
固定資産除却損	96	58
減損損失	83	351
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	921
その他	—	11
特別損失合計	180	1,342
税金等調整前四半期純利益	5,402	6,502
法人税、住民税及び事業税	2,284	1,951
法人税等調整額	348	560
法人税等合計	2,633	2,511
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,990
四半期純利益	2,768	3,990

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,402	6,502
減価償却費	888	1,012
無形固定資産償却費	222	234
長期前払費用償却額	60	60
減損損失	83	351
のれん償却額	239	159
賞与引当金の増減額(△は減少)	△376	△1,002
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△418
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
受取利息及び受取配当金	△1	△5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	921
支払利息	112	105
有形固定資産除却損	7	5
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,956	△2,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△389	△1,350
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△134	△11
仕入債務の増減額(△は減少)	469	1,597
その他の流動負債の増減額(△は減少)	610	81
その他の固定負債の増減額(△は減少)	3	6
その他	—	0
小計	5,243	5,628
利息及び配当金の受取額	1	5
利息の支払額	△107	△102
法人税等の支払額	△1,428	△3,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,708	2,399
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9	△53
投資有価証券の取得による支出	△29	—
有形固定資産の取得による支出	△794	△1,448
無形固定資産の取得による支出	△193	△133
長期前払費用の取得による支出	△91	△111
差入保証金の差入による支出	△271	△4
有形固定資産の売却による収入	—	3
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,389	△1,747

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第3四半期決算短信

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,760	12,360
長期借入金の返済による支出	△1,573	△1,546
自己株式の取得による支出	△0	△10,700
自己株式の処分による収入	—	31
配当金の支払額	△967	△1,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△780	△968
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,537	△316
現金及び現金同等物の期首残高	3,322	4,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,859	3,745

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(自己株式の取得)

当社は、当第3四半期連結会計期間において、平成22年8月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得を行うことを決議し、平成22年10月7日付で自己株式を10,700,000株、10,700百万円取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は11,254,380株、11,563,702,226円となっております。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	前事業年度末に係る要約貸対照表 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,835	2,900
受取手形及び売掛金	29	41
商品	17,122	15,921
貯蔵品	180	171
未収入金	8,128	5,454
その他	2,778	3,988
貸倒引当金	△ 26	△ 26
流動資産合計	31,047	28,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,982	5,038
その他 (純額)	1,671	1,979
有形固定資産合計	7,653	7,017
無形固定資産	1,820	1,921
投資その他の資産		
差入保証金	5,810	5,752
その他	3,274	3,272
貸倒引当金	△ 4	△ 4
投資その他の資産合計	9,079	9,020
固定資産合計	18,553	17,959
資産合計	49,601	46,410

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第3四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	前事業年度末に係る要約貸対照表 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,674	6,951
短期借入金	14,600	800
1年内返済予定の長期借入金	2,176	2,176
未払法人税等	482	1,668
賞与引当金	461	1,428
債務保証損失引当金	—	1,736
その他	3,364	3,427
流動負債合計	29,758	18,188
固定負債		
長期借入金	1,786	3,332
役員退職慰労引当金	87	87
資産除去債務	1,567	—
その他	7	6
固定負債合計	3,448	3,425
負債合計	33,207	21,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	20,849	18,588
自己株式	△ 11,563	△ 909
株主資本合計	16,411	24,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 4	△ 1
繰延ヘッジ損益	△ 11	△ 6
評価・換算差額等合計	△ 16	△ 7
純資産合計	16,394	24,796
負債純資産合計	49,601	46,410

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第3四半期累計期間】 (参考) (個別)

	(単位：百万円)	
	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	前事業年度に係る要約個別損益計算書 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	64,645	78,657
売上原価	29,395	38,238
売上総利益	35,250	40,419
販売費及び一般管理費	27,425	34,627
営業利益	7,824	5,792
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	4	—
為替差益	27	31
関係会社業務受託料	42	71
その他	107	196
営業外収益合計	188	307
営業外費用		
支払利息	103	133
支払手数料	76	—
その他	73	22
営業外費用合計	253	156
経常利益	7,759	5,943
特別利益		
有形固定資産売却益	0	—
移転補償金	19	—
主要株主株式短期売買利益返還益	—	138
特別利益合計	19	138
特別損失		
固定資産除却損	56	117
減損損失	345	530
関係会社株式評価損	—	100
債務保証損失引当金繰入額	—	1,736
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	870	—
その他	11	—
特別損失合計	1,284	2,485
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,495	3,596
法人税、住民税及び事業税	1,689	2,484
法人税等調整額	1,348	△ 898
法人税等合計	3,037	1,585
四半期(当期)純利益	3,457	2,011

5. 補足情報

・平成23年3月期第3四半期累計期間の個別売上概況について

前第3四半期累計期間:(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日 9ヶ月)

当第3四半期累計期間:(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日 9ヶ月)

(1) 全社売上高の状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期累計(A)	当第3四半期累計(B)	増減額(B)－(A)	増減率
全社売上高	58,579	64,645	6,066	10.4

(2) 業態別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期累計(A)	当第3四半期累計(B)	増減額(B)－(A)	増減率
U A 業 態	27,417	29,943	2525	9.2
G L R 業 態	10,623	12,143	1519	14.3
C H 業 態	3,050	3,634	583	19.1
S.B.U.およびUAラボ	8,817	9,726	908	10.3
ビジネスユニット計	49,909	55,448	5538	11.1
そ の 他	8,669	9,197	527	6.1

※1. S.B.U.=Small Business Unit

※2. 各ビジネスユニットに含まれる売上高は、小売、卸売、通販等であり、「その他」に含まれる売上高は、アウトレット等であります。

(3) 既存店の状況(小売) (単位:%)

	売上高増減率	客数増減率	客単価増減率
U A 業 態	4.8	6.0	△ 1.1
G L R 業 態	6.0	10.5	△ 4.0
C H 業 態	△ 4.3	△ 7.6	3.5
S.B.U.およびUAラボ	△ 0.5	△ 0.5	0.0
ビジネスユニット計	3.6	6.3	△ 2.6

(4) 品目別の売上状況(ビジネスユニット計) (単位:百万円、%)

	前第3四半期累計(A)	当第3四半期累計(B)	増減額(B)－(A)	増減率
メ ン ズ	19,127	20,773	1,645	8.6
ウ ィ メ ン ズ	23,485	26,473	2,987	12.7
シルバー&レザー	4,030	4,691	661	16.4
雑 貨 等	3,265	3,507	242	7.4
ビジネスユニット計	49,909	55,448	5,538	11.1

※ シルバー&レザーとは「CHROME HEARTS」ブランドの銀製装飾品および皮革製ウェアであります。

(5) チャネル別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期累計(A)	当第3四半期累計(B)	増減額(B)－(A)	増減率
北海道・東北地区	2,077	2,136	59	2.9
関東(東京以外)地区	7,355	7,796	440	6.0
東京地区	20,451	22,405	1,953	9.6
甲信越・北陸・東海地区	4,026	4,242	216	5.4
関西地区	6,360	7,324	963	15.2
中国・四国・九州地区	4,242	4,464	221	5.2
小 売 合 計	44,514	48,369	3,854	8.7
通 販	4,574	6,394	1,820	39.8
卸 等	820	684	△ 136	△ 16.6
そ の 他	8,669	9,197	527	6.1
全社売上高	58,579	64,645	6,066	10.4